

大歓迎

薩摩町によりこそ 新任教職員歓迎会

4月12日、町内の小・中学校に新しく赴任してこられた先生方の歓迎会が、観音滝公園で開催されました。

新任の先生方13名は早速、体験実習館で町職員の上園一行さん指導のもとそば打ちに挑戦。こね方からゆで方までを約1時間体験されました。

そば打ちは初めてという方が多く、慣れない手つきで悪戦苦闘。しかし、最後には上手にそばが仕上がりました。指導に当たった上園さんは

「私が今まで受け持った生徒さんの中で一番上手です。」と誉めていました。

また、今年、永野小に赴任された山口麻衣子先生は「また是非機会があったらやってみたい。他の学校の先生

方と交流できたのはよかったです。」と話され、自作のそばの出来栄えにとっても満足そうでした。

◀ そんなに見つめられると緊張しちゃいます



▲男性には厳しく指導する上園さん

各功績に対し感謝状

4月17日、農村青少年先進地農家留学研修事業に功績があったとして本町の日野洋蘭園に対し、全国農村青少年教育振興会から感謝状が贈られました。日野洋蘭園は研修者を多く受け入れ、研修者の将来の自家経営や地域農業の推進に多大の功績が認められたものです。

また4月25日のさつま特産品直売所利用協議会総会で、同協議会の初代会長を2年間に渡って務められた、故神原榮一さんに感謝状が贈られました。神原さんは、1日もかかさず野菜等をさつま特産品直売所に出荷され、他の会員の模範となったことが高く評価されたものです。

4月30日には、町有林看守人として尽力された故池田達也さんに感謝状が贈られました。池田さんは平成6年4月から7年7カ月間に渡って、町有林の管理・保護に努め、林業振興の発展に尽くされたことが高く評価されました。

表紙の説明

写真は、新規就農のため、福岡県宗像市から家族5人で本町に転入された小川恭史さん（34才）一家です。

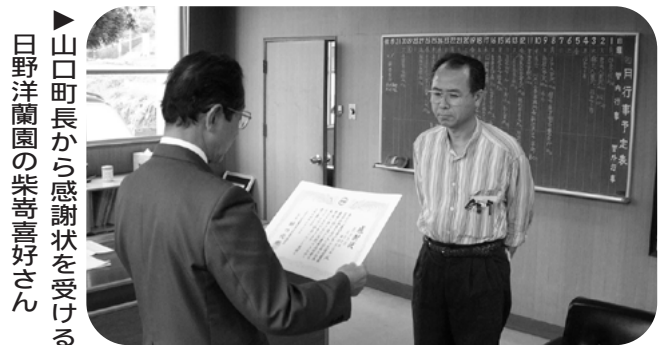
小川さんは、求名の橋掛に2.7ヘクタールの山林を購入され、当初は地鶏の放し飼いや、有機野菜・南高梅の栽培を手がけ、将来的には、ブルーベリーを栽培してジャムまでの加工、木炭の生産など総合的な農業に取り組んでいこうと考えられています。

現在は、永野の平田に住んでいらっしゃいますが、5年後を目途に橋掛に住宅を建築する目標に向かってがんばっておられます。

写真を撮影した日（4月29日）も、ゴールデンウィーク中にもかかわらず家族全員で開墾作業を一生懸命されていました。

〔表紙写真〕

上段右より 恭史さん、奥さんの幸子さん
下段右より 次男 将平君、長男 泰平君、三男 健志君



▶ 山口町長から感謝状を受ける日野洋蘭園の柴寄喜好さん

求名小五年 熊田千郷さん
さくらはね
春一番の
たからもの
求名小五年 岩下 聡君
この春も
つばめが子を産む
やねの下
求名小五年 竹之内航輝君
春になり
ばくのころに
花がさく

